

技術者表彰、来年度から

鹿児島県と意見交換会

ウイークリー スタンス等 共通仕様書に記載

建コン協九州



（一社）建設コンサル
タンス協会九州支部（穂
山泰治支部長）は14日、鹿
児島県との令和7年度の
意見交換会を行った。写
真＝要望・提案事項は、

各自自治体共通
テーマの「担
い手の確保・
育成の環境整
備」等の5項
目とともに、
鹿児島県への
個別提案とな
る「ウイーク
リースタンス」など2項
目。県は、こ
のうち担い手
関連の施策で
「業務の優良

「業務の優良
表彰」について、従来か
らの企業部門に加え、来
年度から技術者を対象と
した部門も創設すること
を報告した。
鹿児島市内で開かれた

今年度の意見交換会は、
建コン協九州支部から穂
山支部長（西日本技術開
発）や栄徳洋平副支部長
（福山コンサルタント）
のほか、支部理事や対外
活動委員、地元会員らが
出席。県からは土木部の
木佐貫浄治部長、稲卓郎
監理課公共事業調整監と
ともに、土木部の幹部職
員らが対応した。

冒頭、穂山支部長と木
佐貫部長があいさつ。意
見交換会は、冒頭のみ公
開で会議は非公開で行わ
れたため、終了後、建コ
ン協の穂山支部長らが会
見を行った。

意見交換のテーマは、
各自自治体共通の「担い手
の確保・育成のための環
境整備」「技術力による
選定」「品質の確保・向
上」等の5項目のほか、
同県への個別提案となる
「ウイークリースタンス
の実施」等の2項目につ
いて。

このうち個別提案につ
いて建コン協は、鹿児島
県が工事・業務を対象に
ウイークリースタンスと
同様の取り組みを定めた
「環境改善実施要領」に
基づく、施策の実施状況
を質問。

これに対して県は、災
害等の緊急を要する全て
の業務を対象に、今年4
月から共通仕様書におい
て、環境改善実施要領に
基づく取り組みを実施す
るよう追記したことを説
明。さらには県職員への
周知を図るとともに、市
町村に対しても同様の取
り組みの推進について働
き掛けを行っていること
も報告した。

各自自治体共通テーマで
ある「担い手等の環境整
備」の項目では、建コン
協が履行期限の平準化、
および人材育成や技術者
のモチベーション向上等
に係る施策の実施などに
ついて要望。

県は、このうち平準化
について、早期発注やゼ
ロ負債等の活用により、
引き続き適切な取り組み
に努めていく考えを提
示。さらに人材育成等に
係る施策に関連し、これ
まで企業を対象とした業
務関係の優良表彰につ
いて、来年度より技術者も
対象とする表彰制度を設
けることを説明した。な
お優良技術者は、優良業
務案件の担当技術者から
選定し、表彰対象者は管
理技術者だけでなく、若
手・女性技術者を含め企
業側の推薦によりに決定
するとした。

「技術力」の項目で
は、建コン協がプロポー
ザル方式や総合評価方式
の発注量の増加と適正な
運用等を図ることを提
案。県は、従来は100
0万円以上の道路詳細設
計などを基本に総合評価
方式を適用していたが、
今年4月より砂防業務に
も対象を拡大したことを
説明。発注件数として
は、4年度16件、5年度
12件、6年度9件だった
のに対して、今年度は26
件の発注を予定している
とした。

「品質確保」に係る
テーマでは、建コン協が
「設計段階における三者
検討会」について、この
取り組みを実施している
長崎や大分、宮崎県の取
り組み事例などを紹介。
鹿児島県も有効な方法で
あるとの認識を示し、
今後検討していく「な
ど」と回答した。